No.23 ほうもん かんこ" 問訪問看護ステーション **32 - 2416**

【備えは十分ですか】

今後、大地震の発生による大きな損害が予測されています。在宅で療養中の方は服薬や医療処置が中断することで、 深刻な被害を受ける可能性があります。災害への備えをし、被害を最小限に抑えましょう。



常備薬・処置に必要なものの準備

療養生活をして いる方は、中断し てはならない薬を 1週間分(最低3 日分) と、オムツ や処置に必要なも の(人によって違 います) の準備も 必要です。





処置に必要なもの



病状を伝えるために



病名やかか りつけ医、医 療処置、生活 の自立度、移 送時の留意事 項、緊急連絡 先(ご家族だ けでなくかか

りつけ医、訪問看護などのサービ ス事業書を含む) などの情報が記 載できる緊急支援手帳を準備しま しょう。

支援してくれる方はいますか

大地震発生時には、緊急車両や 訪問看護などのサービスが、すぐ に駆け付けられるとは限りませ

- ・民生委員や近所の方に協力を得 られるようお願いしておきま しょう
- ・家族だけでなく、親戚の方にも 介護方法を知ってもらいましょ う
- ヘルパーなどのサービスにも慣 れておくとよいでしょう

ご家族との連絡方法は決まっていますか

災害時には、電話やインターネットがつ ながりにくい状況が長く続いたりします。 日頃から家族との連絡方法を話し合ってお きましょう。

=NTTの災害伝言ダイヤル171=



※「災害用ブロードバンド伝言板」携帯電 話各社の「災害用伝言板」もあります。 メッセージの登録方法や確認方法を覚え ておきましょう。

停電時のために

- ・医療機器は、自家発電などで充電できるようにしましょう。
- ・褥瘡の予防に使うエアーマットは、1~2週 間は空気が抜けないものなど、改良されたも のが増えています。